

急性期脳梗塞における離床開始の遅延は自宅復帰に影響するか検討する

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

脳梗塞という病気は、重症化するリスクが高く、早期に治療を開始することが重要と考えられています。脳梗塞発症後にリハビリテーションを早期から開始することで機能予後が良好であるとの報告があり、脳卒中治療ガイドライン 2021 においても推奨されています。当院では脳梗塞で入院後に早期からリハビリテーションを開始し、回復後に自宅復帰できることを目標に取り組んでいます。そこで、早期離床が実施できているか調査し、実施できていない症例の特徴を検討し、自宅復帰に影響するか検証することで、急性期におけるリハビリ診療に活かすことを目的としています。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021 年 4 月～2023 年 12 月に当院で脳梗塞治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、リハビリ評価など

使用開始予定日：2024 年 10 月 29 日

研究予定期間

2024 年 10 月 29 日～2026 年 6 月 30 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 リハビリテーション部 浦川 隆司

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 浦川 隆司

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)